

2024（令和6）年度

自己評価及び外部評価結果

【事業所概要（事業所記入）】

事業所番号	1492601792	事業の開始年月日	令和2年9月29日
		指定年月日	令和2年10月1日
法人名	株式会社リビングプラットフォームケア		
事業所名	ライブラリ城山		
所在地	(252-0116) 神奈川県相模原市緑区城山1-2-20		
サービス種別 定員等	■ 認知症対応型共同生活介護	定員計	18名 ユニット数 2 ユニット
自己評価作成日	令和7年2月17日	評価結果 市町村受理日	令和7年4月25日

※ 事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先 <http://www.rakuraku.or.jp/kaigonavi/>

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点（事業所記入）】

事業所では、お客様という気持ちではなく、家庭的なケアの実践に努めております。ご家族様とも気兼ねなく相談が出来る、協力できるよう努めており、笑顔が絶えない施設を目指しております。また離職率を上げないように出来る限り職員同士のコミュニケーションとチームワークを大切に良い関係性の構築をしています。

【評価機関概要（評価機関記入）】

評価機関名	株式会社フィールズ		
所在地	251-0024 神奈川県藤沢市鶴沼橋1-2-7 藤沢トーセイビル3階		
訪問調査日	令和7年3月21日	評価機関 評価決定日	令和7年4月21日

【外部評価で確認した事業所の優れている点・工夫点（評価機関記入）】

事業所はJR横浜線の「橋本」駅北口から「三ヶ木」行きのバスで「都井沢」下車、徒歩3分程の住宅街の中にあります。法人は、介護事業、障害者事業、保育事業など多くの福祉事業を幅広いエリアで展開しています。介護事業では、介護付有料老人ホームやサービス付き高齢者向け住宅、訪問介護、定期巡回随時対応型訪問介護、居宅介護支援、小規模多機能型居宅介護、グループホームなどがあります。

<優れている点>

「施設ではなく家庭」として、自分の家としてホームに関わる全ての人が仲良く穏やかに、そして互いに言いたいことが言える関係構築に重点を置いています。チームワークをテーマに、笑顔が絶えない活気ある職場づくりを目指し、日々の活動を入居者と共に楽しむ時間を大切に支援に努めています。

<工夫点>

法人ではサービスの質の向上に職員のスキルアップは欠かせないとの考えから職員の育成と教育に力を入れています。初任者研修、介護福祉士、実務者研修などの研修の受講や資格取得を促しています。また、法定研修については年間計画に沿ってコンプライアンス、接遇、感染症、食中毒、身体拘束、虐待防止などを実施しています。受講後はレポートの提出を義務付けることで一人ひとりの理解度を把握し、質の高いサービスに繋がっています。

【地域密着型サービスの外部評価項目の構成】

評価項目の領域	自己評価項目	外部評価項目
I 理念に基づく運営	1～14	1～10
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援	15～22	11
III その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント	23～35	12～16
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	36～55	17～23
V アウトカム項目	56～68	

事業所名	ライブラリ城山
ユニット名	1F

V アウトカム項目		
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)	<input type="radio"/> 1, ほぼ全ての利用者の <input type="radio"/> 2, 利用者の2/3くらいの <input type="radio"/> 3, 利用者の1/3くらいの <input type="radio"/> 4, ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	<input type="radio"/> 1, 毎日ある <input type="radio"/> 2, 数日に1回程度ある <input type="radio"/> 3, たまにある <input type="radio"/> 4, ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	<input type="radio"/> 1, ほぼ全ての利用者が <input type="radio"/> 2, 利用者の2/3くらいが <input type="radio"/> 3, 利用者の1/3くらいが <input type="radio"/> 4, ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている。 (参考項目：36, 37)	<input type="radio"/> 1, ほぼ全ての利用者が <input type="radio"/> 2, 利用者の2/3くらいが <input type="radio"/> 3, 利用者の1/3くらいが <input type="radio"/> 4, ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)	<input type="radio"/> 1, ほぼ全ての利用者が <input type="radio"/> 2, 利用者の2/3くらいが <input type="radio"/> 3, 利用者の1/3くらいが <input type="radio"/> 4, ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)	<input type="radio"/> 1, ほぼ全ての利用者が <input type="radio"/> 2, 利用者の2/3くらいが <input type="radio"/> 3, 利用者の1/3くらいが <input type="radio"/> 4, ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている。 (参考項目：28)	<input type="radio"/> 1, ほぼ全ての利用者が <input type="radio"/> 2, 利用者の2/3くらいが <input type="radio"/> 3, 利用者の1/3くらいが <input type="radio"/> 4, ほとんどいない

63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています。 (参考項目：9, 10, 19)	<input type="radio"/> 1, ほぼ全ての家族と <input type="radio"/> 2, 家族の2/3くらいと <input type="radio"/> 3, 家族の1/3くらいと <input type="radio"/> 4, ほとんどできていない
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)	<input type="radio"/> 1, ほぼ毎日のように <input type="radio"/> 2, 数日に1回程度ある <input type="radio"/> 3, たまに <input type="radio"/> 4, ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)	<input type="radio"/> 1, 大いに増えている <input type="radio"/> 2, 少しずつ増えている <input type="radio"/> 3, あまり増えていない <input type="radio"/> 4, 全くいない
66	職員は、生き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)	<input type="radio"/> 1, ほぼ全ての職員が <input type="radio"/> 2, 職員の2/3くらいが <input type="radio"/> 3, 職員の1/3くらいが <input type="radio"/> 4, ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	<input type="radio"/> 1, ほぼ全ての利用者が <input type="radio"/> 2, 利用者の2/3くらいが <input type="radio"/> 3, 利用者の1/3くらいが <input type="radio"/> 4, ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	<input type="radio"/> 1, ほぼ全ての家族等が <input type="radio"/> 2, 家族等の2/3くらいが <input type="radio"/> 3, 家族等の1/3くらいが <input type="radio"/> 4, ほとんどいない

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている。	入居者様・職員・地域が1つの家族として楽しく、自立した生活が送れるように支援する。 地域のお祭り参加。	開所当初から「チームワーク」を永遠のテーマとして理念に掲げています。入居者、職員が地域の一員として楽しく暮らせるよう職員同士の協力を大切にしています。職員は互いの得意、不得意を補いチームワークを高めることで、良いサービスに反映させています。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している。	入居者様・職員が地域の一員になれるよう自治活動に参加したい。 毎年「古切手・プルタブ」を回収し近隣の小学校に提出しております。	地域の町内会に加入し、回覧板より情報を得ています。毎年開催される「神輿祭り」では、事業所に立ち寄る神輿に、入居者に事業所代表として祝儀を渡してもらうなど地域交流に努めています。祭りで踊る入居者の姿を家族に動画で配信しています。AEDを設置し地域に伝えています。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている。	地域包括支援センターの勉強会参加、情報頂き入り口や庭へ発進している。		
4	3	○運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている。	開催はしているが地域の参加が少なく今後の課題（コロナ） ご家族様は参加して頂けている。	運営推進会議は年6回開催しています。自治会長とは顔馴染みの関係ですが日程の調整が付かず、家族と職員の少人数で行っています。コロナが5類になったので広く参加を呼びかけ、事業所の取り組みや課題について話し合い、率直な意見をもらえる事を計画しています。	運営推進会議の年間予定表を事前に伝えることで、参加しやすい環境を整え、災害時の協力体制等について話し合うことが期待されます。
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる。	運営する上で分からないことは市へ連絡し確認、連携が取れるよう努めている。又、相模原市就労支援センターとも連携を取り、地域就労促進にもと止めている。 生活保護の受け入れし、連携取れている。就労支援センターの方とも月/1回以上電話で話をしている。	相模原市認知症高齢者グループホーム連絡会に参加して介護保険に関する最新情報や勉強会など相互で情報共有をしています。相模原市就労支援センターと連携し引きこもりの状態にある人の就職先として受け入れを行っています。継続して働いてもらえるように環境を整備し、現在もパート職員として数年働いています。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が、身体的拘束等の対象となる具体的な行為を正しく理解するとともに、身体的拘束等の適正化のための指針の整備、定期的な委員会の開催及び従業者への研修を実施し、緊急やむを得ない場合を除き、身体的拘束等をしないケアに取り組んでいる。	建物の構造上、通路は電子錠となっている。基本的には施錠しない対応。季節により開錠したままで対応しています。	身体拘束適正化委員会では管理者、看護師、ケアマネジャー、当日参加可能な職員で話し合いをしています。「こんな事ぐらいで」と思わず、気になる事は勇気を持って発言し、職員同士が話し合うことを大切にしています。ベッドの高さは入居者が立ちやすい高さにするなど、行動の抑制に繋がらないよう、共に考え実践しています。	
7	6	○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている。	身体拘束については、指針があり同時に虐待についても勉強会実施しています。カンファレンスをし、拘束・虐待にならないようにしていきます。	管理者は仕事を楽しむことの大切さを職員に伝えていきます。誰かの指示を待つのではなく自分で考え行動すること、考える力を育てることで仕事に充実感を感じるようになると認識しています。良好な人間関係によりストレス軽減に繋がり、より穏やかな気持ちで業務に取り組めることで虐待の防止に努めています。	
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。	権利擁護については入職時に説明を実施しています。職員がいつでも見れるようファイリングしています。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。	締結時は項目ごとにご家族様へ疑問点確認しております。わかりづらいことなどはかみ砕き、ご質問頂けるようお伝えしています。いつでも聞ける環境を整えております。		
10	7	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。	その中で管理者だけで判断がつかないものについては本部会議などで提案し、改善に努めております。	家族からの意見や要望、分からないことは面会時や電話で話を聞いています。またメールでの相談は24時間可能にし、家族の心配事は早期解決に努めています。家族の提案で、和風デザインのリビングの照明を明るい物に交換しています。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	8	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。	管理者は常に職員からの要望を聞ける環境作りをしています。その中で管理者だけで判断がつかないものについては本部会議などで提案し、改善に努めております。	幅広い職員の年齢層に配慮し、「簡潔に分かりやすく伝える」「話をゆっくり聞く」など、職員の特性に合わせて意見や提案を聞いています。人間関係についての相談は、働く意欲の向上や質の確保に繋がるため、上司に相談して改善に努めています。	
12	9	○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。	株式会社リビングプラットフォームケアでは、給与水準については定期的に地域の動向調査しております。	管理者は年4回個人面談を行い、各自の人事評価を伝え、日頃の努力や目標について話し合い昇給に繋げています。また、職員に不安がなく働きやすい環境づくりに努めています。休憩室のコーヒーマシン設置や、有給休暇の取得も環境を整え、現在職員は、有給休暇はほぼ消化しています。	
13	10	○職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている。	本人から不安の声が出た場合働きながら研修期間延長し指導しております。	法人内で二次元コードを使用したオンライン法定研修を行い、正職員、パート職員が受講しています。「認知症の不穏症状への関わり方」に不安を感じる職員が多いので、カンファレンスで話し合いながら、職員の経験や習熟度に応じ、丁寧に指導しています。	
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている。	スカイプやズーム使用し交流を図っている。		
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている。	入居前にできる限りご本人様・ご家族様と接しご要望を確認していきます。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている。	お仕事されている方がほとんどの為、特に入居前後ご不安を抱えられる方が多い為携帯電話やメールなどで連絡を取り関係作りに努めている。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている。	基本職員と利用者様との関係ではなく一つの家族という考えのもとでケアをしています。大笑い、喧嘩なども含め入居前にご家族様への理解をさせていただいております。		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている。	基本職員と利用者様との関係ではなく一つの家族という考えのもとでケアをしています。大笑い、喧嘩なども含め入居前にご家族様への理解をさせていただいております。		
19		○本人を共に支え合う家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている。	入居されたらご家族様との関係が終わりではなく継続できるよう関係性を作り外出等イベント時の参加を促しております。		
20	11	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている。	ご家族様だけではなく古い友人や遠い兄弟を把握し認知症進行を出来るだけ遅らせられるよう努めております。	入居者の子どもの頃と同級生から定期的な電話を受け、昔話をするなどの機会があります。入居者の馴染みの関係が継続できるように電話のサポートをしています。毎年年賀状のやり取りをしている人もいます。散歩時には昔からの知り合いに挨拶もしています。家族との外出は自由に行ってもらえるように提案しています。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている。	午前午後とレクリエーション活動の声掛けを市一人にならないよう支援しています。		
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている。	退去後もご家族様へ連絡通知などだし特養のご相談、再入居のご相談に結びつけております。		
Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	12	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	ケアプランをもとにご本人様が求めるもの確認する。できない、やらないのではなく求めているものを理解しサービスに結びつけています。	入居者の不安な思いを受け止め、家族と相談しながら、本人が納得しやすい言葉で伝えています。ゆっくり話を聞き、レクリエーションで声掛けしながら、入居者の好きな事を把握しています。少しずつ気持ちが落ち着いて職員や他の入居者と馴染みの関係になれるよう支援しています。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている。	入居前より生活歴・趣味等確認しております。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている。	入居者様の身体状況は必ずご本人様とご面会しADL確認後現場への周知しております。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
26	13	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している。	居室担当者とケアマネまた他スタッフとモニタリング実施しプランの変更しています。	介護計画は、居室担当者や介護スタッフが日々の変化をカンファレンスで話し合い、評価を行っています。ケアマネジャーが事前に本人や家族の思いを聞き取り、訪問診療の主治医や、必要時には歯科、栄養士などの意見も反映して作成しています。	
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている。	記録に関しては、iPad利用しています。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる。	会社で決ったルールはあるものの、地域に合わせた施設としてサービス実施している。(例)ご家族様入院していて、入居者様がとても心配で不安を感じている。職員が付き添いで入院のご案内付き添いをする。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している。	5類になってから地域ボランティアの方に力をかり受け入れをする体制を整えておりますが現在日程等調整中です。地域のお祭りなど参加させて頂いております。		
30	14	○かかりつけ医の受診診断 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している。	協力医療機関があることご説明し、ご家族様に選んでいただく。	入居時に本人や家族に協力医療機関について説明しています。本人や家族の意向で入居前のかかりつけ医の受診継続もできます。その際に日々の体調の情報提供依頼があれば応じています。協力医療機関とは密に連絡をとり良好な関係を築いています。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している。	直雇用している。定期的に体調管理を実施している。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	協力機関がベッド確保しており常に連携が取れる。MSWに状態確認し退院支援が出来るような体制が整っている。		
33	15	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる。	入居の時点で重度化指針がある。医療行為が無ければチームを作るがご家族様の最近の傾向は入院を望んでいる方が多い。 看取りのお話が出た場合石・ご家族様・看護師・薬剤師・管理者で話をす	入居契約時に、重度化した場合の対応に係る指針などで重度化や終末期に向け事業所で出来ること、出来ないことを説明し、看取りについての事前確認書に署名をもらっています。終末期の対応が予想される段階で、改めて管理者や家族、主治医による話し合いの場を設け、今後の方針を決めています。	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている。	入居者様の体調に合わせて適確な指示、研修を行っている。		
35	16	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている。	避難訓練年二回実施している。今年度3月実施予定。	避難訓練を年2回、計画に沿って実施しています。BCP（事業継続計画）を基に災害時の備蓄を整備しています。備蓄は入居者や職員分として3日程度の食料、水、懐中電灯、非常用蓄電池などを用意しています。BCPに関しての研修や訓練を実施しています。	今後、運営推進会議などの場で地域の人と話し合い、防災訓練に参加してもらったり地域の防災訓練に参加するなど連携を強めていくことが期待されます。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	17	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている。	一人一人生きてきた環境が違うためご本人様にあった声かけ対応方法実施しています。	法人が年間計画に沿って入居者の人権やプライバシー保護の研修を実施し、職員全員が受講しています。人生の先輩として利用者の人格を尊重し、声のかけ方、名前の呼び方などに注意を払っています。利用者一人ひとりの尊厳を大切に支援することを心がけています。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている。	ご本人様にあった自己決定が出来るような声のかけ方環境作り。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している。	ご本人様にあったペースで対応できるよう尽力している。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している。	衣類等の選ぶことについては、自己決定できるようご本人様にお任せすることもあります。		
40	18	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている。	メニューは決まっていますが好みもありますのでレクリエーション活動で希望をかなえることもあります。	誕生日会ではおやつにケーキ作ったり、誕生日を迎える人の希望に合わせて寿司などを提供し、ノンアルコールビールで祝っています。新年会でバイキングを行っています。月1回はパンの移動販売があり各自好きなパンを購入しています。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている。	食事・排泄チェック表があり管理しております。又栄養士がつき/2回指導に来ております。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている。	毎食後口腔ケア実施、又歯科より指導を受けケア行えている。		
43	19	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている。	排泄パターンを把握し自立に向け使用するもの変更しております。	排泄チェック表や表情などの観察から利用者一人ひとりの排泄パターンを把握しトイレでの排泄を支援しています。退院時にはおむつ使用の人が、日中リハビリパンツになりトイレでの排泄ができるように改善した例があります。トイレ自立の人は継続できるように支援しています。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる。	水分をとれるよう好みのもの把握、体操の強化声掛けし参加を促しております。		
45	20	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援をしている。	基本的には決めた曜日入浴実施。夜間入浴支援をするなど個別ケア実施しています。現在はおりません。	「入浴は楽しく」をモットーにゆったりと入浴時間をとっています。職員との会話や、ゆず湯で季節を感じたり、入浴剤の使用など、入浴が楽しめるように工夫しています。自立支援に向け、一人ひとりの状況に応じて介助方法を変えています。見守りや声掛けで自立で入浴できる人もいます。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している。	生活のメリハリ日中の昼寝など促し足のむくみ解消。又メリハリをつけることで生活習慣整えます。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている。	1服薬1チェック。必ず口の中に入れ飲み込んだか確認致します。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている。	全体のレクではなく各フロアで個別の楽しみを把握し実施している。		
49	21	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している。	タイムリーの実施は出来ないが出来るよう計画し実施する。	できるだけ散歩に出るようにしています。事業所周辺をのんびり歩いたり、少し足を延ばしてファーストフード店でお茶を楽しむこともあります。家族に呼び掛けて近隣のショッピングセンターに外出することもあります。今後、いちご狩りなど車での外出も検討していく予定です。	
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している。	トラブルにならないよう金銭持参希望されている方はご家族様と相談し所持する。現在はいらっしゃいません。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている。	一緒に手紙を書いたり、電話がつながるよう支援しています。		
52	22	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている。	イルミネーションや季節にあった環境作りをしています。	照明や、家具を落ち着いた色調にして寛げる空間になるようにしています。歩行器や車いすで自由に動けるように広さを十分に確保し、整理整頓を心がけています。壁面に飾った季節の共同制作や、観葉植物、ソファも設置し居心地良く過ごせる工夫をしています。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている。	ソファを置きゆっくり話せる空間づくりしている。		
54	23	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている。	馴染みのあるものや写真、カレンダーを置き不安を取り除いて頂ける空間づくりをしています。	居室はテレビやなじみのチェスト、籐のイス、仏壇、小さな鏡台に化粧品を並べたり家族の写真を飾り、それぞれ居心地の良い空間となっています。転倒リスクなどに問題がなければ家族と相談し自由なレイアウトをお願いしています。カーテンも防災であれば好きなものを持参してもらえるように伝えていきます。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。	場所や物がわからない、理解できない方が多い為目印となるものをはる、又は飾り工夫する。		

事業所名	ライブラリ城山
ユニット名	2F

V アウトカム項目		
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)	<input type="radio"/> 1, ほぼ全ての利用者の <input type="radio"/> 2, 利用者の2/3くらいの <input type="radio"/> 3, 利用者の1/3くらいの <input type="radio"/> 4, ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	<input type="radio"/> 1, 毎日ある <input type="radio"/> 2, 数日に1回程度ある <input type="radio"/> 3, たまにある <input type="radio"/> 4, ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	<input type="radio"/> 1, ほぼ全ての利用者が <input type="radio"/> 2, 利用者の2/3くらいが <input type="radio"/> 3, 利用者の1/3くらいが <input type="radio"/> 4, ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている。 (参考項目：36, 37)	<input type="radio"/> 1, ほぼ全ての利用者が <input type="radio"/> 2, 利用者の2/3くらいが <input type="radio"/> 3, 利用者の1/3くらいが <input type="radio"/> 4, ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)	<input type="radio"/> 1, ほぼ全ての利用者が <input type="radio"/> 2, 利用者の2/3くらいが <input type="radio"/> 3, 利用者の1/3くらいが <input type="radio"/> 4, ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)	<input type="radio"/> 1, ほぼ全ての利用者が <input type="radio"/> 2, 利用者の2/3くらいが <input type="radio"/> 3, 利用者の1/3くらいが <input type="radio"/> 4, ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている。 (参考項目：28)	<input type="radio"/> 1, ほぼ全ての利用者が <input type="radio"/> 2, 利用者の2/3くらいが <input type="radio"/> 3, 利用者の1/3くらいが <input type="radio"/> 4, ほとんどいない

63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています。 (参考項目：9, 10, 19)	<input type="radio"/> 1, ほぼ全ての家族と <input type="radio"/> 2, 家族の2/3くらいと <input type="radio"/> 3, 家族の1/3くらいと <input type="radio"/> 4, ほとんどできていない
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)	<input type="radio"/> 1, ほぼ毎日のように <input type="radio"/> 2, 数日に1回程度ある <input type="radio"/> 3, たまに <input type="radio"/> 4, ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)	<input type="radio"/> 1, 大いに増えている <input type="radio"/> 2, 少しずつ増えている <input type="radio"/> 3, あまり増えていない <input type="radio"/> 4, 全くいない
66	職員は、生き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)	<input type="radio"/> 1, ほぼ全ての職員が <input type="radio"/> 2, 職員の2/3くらいが <input type="radio"/> 3, 職員の1/3くらいが <input type="radio"/> 4, ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	<input type="radio"/> 1, ほぼ全ての利用者が <input type="radio"/> 2, 利用者の2/3くらいが <input type="radio"/> 3, 利用者の1/3くらいが <input type="radio"/> 4, ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	<input type="radio"/> 1, ほぼ全ての家族等が <input type="radio"/> 2, 家族等の2/3くらいが <input type="radio"/> 3, 家族等の1/3くらいが <input type="radio"/> 4, ほとんどいない

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている。	入居者様・職員・地域が1つの家族として楽しく、自立した生活が送れるように支援する。 地域のお祭り参加。		
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している。	入居者様・職員が地域の一員になれるよう自治活動に参加したい。 毎年「古切手・プルタブ」を回収し近隣の小学校に提出しております。		
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている。	地域包括支援センターの勉強会参加、情報頂き入り口や庭へ発進している。		
4	3	○運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている。	開催はしているが地域の参加が少なく今後の課題（コロナ） ご家族様は参加して頂けている。		
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる。	運営する上で分からないことは市へ連絡し確認、連携が取れるよう努めている。又、相模原市就労支援センターとも連携を取り、地域就労促進にもとめている。 生活保護の受け入れし、連携取れている。就労支援センターの方とも月/1回以上電話で話をしている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が、身体的拘束等の対象となる具体的な行為を正しく理解するとともに、身体的拘束等の適正化のための指針の整備、定期的な委員会の開催及び従業者への研修を実施し、緊急やむを得ない場合を除き、身体的拘束等をしないケアに取り組んでいる。	建物の構造上、通路は電子錠となっている。基本的には施錠しない対応。季節により開錠したままで対応しています。		
7	6	○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている。	身体拘束については、指針があり同時に虐待についても勉強会実施しています。カンファレンスをし、拘束・虐待にならないようにしていきます。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。	権利擁護については入職時に説明を実施しています。職員がいつでも見れるようファイリングしています。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。	締結時は項目ごとにご家族様へ疑問点確認しております。わかりづらいことなどはかみ砕き、ご質問頂けるようお伝えしています。いつでも聞ける環境を整えております。		
10	7	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。	その中で管理者だけで判断がつかないものについては本部会議などで提案し、改善に努めております。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	8	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。	管理者は常に職員からの要望を聞ける環境作りをしています。その中で管理者だけで判断がつかないものについては本部会議などで提案し、改善に努めております。		
12	9	○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。	株式会社リビングプラットフォームケアでは、給与水準については定期的に地域の動向調査しております。		
13	10	○職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている。	本人から不安の声が出た場合働きながら研修期間延長し指導しております。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている。	スカイプやズーム使用し交流を図っている。		
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている。	入居前にできる限りご本人様・ご家族様と接しご要望を確認していきます。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている。	お仕事されている方がほとんどの為、特に入居前後ご不安を抱えられる方が多い為携帯電話やメールなどで連絡を取り関係作りに努めている。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている。	基本職員と利用者様との関係ではなく一つの家族という考えのもとでケアをしています。大笑い、喧嘩なども含め入居前にご家族様への理解をさせていただいております。		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている。	基本職員と利用者様との関係ではなく一つの家族という考えのもとでケアをしています。大笑い、喧嘩なども含め入居前にご家族様への理解をさせていただいております。		
19		○本人を共に支え合う家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている。	入居されたらご家族様との関係が終わりではなく継続できるよう関係性を作り外出等イベント時の参加を促しております。		
20	11	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている。	ご家族様だけではなく古い友人や遠い兄弟を把握し認知症進行を出来るだけ遅らせられるよう努めております。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている。	午前午後とレクリエーション活動の声掛けを市一人にならないよう支援しています。		
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている。	退去後もご家族様へ連絡通知などだし特養のご相談、再入居のご相談に結びつけております。		
Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	12	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	ケアプランをもとにご本人様が求めるもの確認する。できない、やらないのではなく求めているものを理解しサービスに結びつけています。		
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている。	入居前より生活歴・趣味等確認しております。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている。	入居者様の身体状況は必ずご本人様とご面会しADL確認後現場への周知しております。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
26	13	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している。	居室担当者とケアマネまた他スタッフとモニタリング実施しプランの変更しています。		
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている。	記録に関しては、iPad利用していません。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる。	会社で決ったルールはあるものの、地域に合わせた施設としてサービス実施している。(例)ご家族様入院していて、入居者様がとても心配で不安を感じている。職員が付き添いで入院のご面会付き添いをする。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している。	5類になってから地域ボランティアの方に力をかり受け入れをする体制を整えておりますが現在日程等調整中です。地域のお祭りなど参加させて頂いております。		
30	14	○かかりつけ医の受診診断 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している。	協力医療機関があることご説明し、ご家族様に選んでいただく。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している。	直雇用している。定期的に体調管理を実施している。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	協力機関がベッド確保しており常に連携が取れる。MSWに状態確認し退院支援が出来るような体制が整っている。		
33	15	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる。	入居の時点で重度化指針がある。医療行為が無ければチームを作るがご家族様の最近の傾向は入院を望んでいる方が多い。 看取りのお話が出た場合石・ご家族様・看護師・薬剤師・管理者で話をする。		
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている。	入居者様の体調に合わせて適確な指示、研修を行っている。		
35	16	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている。	避難訓練年二回実施している。今年度3月実施予定。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	17	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている。	一人一人生きてきた環境が違うためご本人様にあった声かけ対応方法実施しています。		
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている。	ご本人様にあった自己決定が出来るような声のかけ方環境作り。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している。	ご本人様にあったペースで対応できるよう尽力している。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している。	衣類等の選ぶことについては、自己決定できるようご本人様にお任せすることもあります。		
40	18	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている。	メニューは決まっていますが好みもありますのでレクリエーション活動で希望をかなえることもあります。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている。	食事・排泄チェック表があり管理しております。又栄養士がつき/2回指導に来ております。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている。	毎食後口腔ケア実施、又歯科より指導を受けケア行えている。		
43	19	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている。	排泄パターンを把握し自立に向け使用するもの変更しております。		
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる。	水分をとれるよう好みのもの把握、体操の強化声掛けし参加を促しております。		
45	20	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援をしている。	基本的には決めた曜日入浴実施。夜間入浴支援をするなど個別ケア実施しています。現在はおりません。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々の状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している。	生活のメリハリ日中の昼寝など促し足のむくみ解消。又メリハリをつけることで生活習慣整えます。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている。	1服薬1チェック。必ず口の中に入れ飲み込んだか確認致します。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている。	全体のレクではなく各フロアで個別の楽しみを把握し実施している。		
49	21	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している。	タイムリーの実施は出来ないが出来るよう計画し実施する。		
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している。	トラブルにならないよう金銭持参希望されている方はご家族様と相談し所持する。現在はいらっしやいません。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている。	一緒に手紙を書いたり、電話がつながるよう支援しています。		
52	22	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている。	イルミネーションや季節にあった環境作りをしています。		
53		○共用空間における一人ひとりの居場所 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている。	ソファを置きゆっくり話せる空間づくりしている。		
54	23	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている。	馴染みのあるものや写真、カレンダーを置き不安を取り除いて頂ける空間づくりをしています。		
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。	場所や物がわからない、理解できない方が多い為目印となるものをはる、又は飾り工夫する。		

2024年度

事業所名 ライブラリ城山
作成日： 2025 年 4 月 23日

優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	41	訪問時指導に入っている為細かく水分補給や病気と関連している事、現場職員の不安解消	栄養士に細かくわかりやすく指導を依頼し入居者様の健康管理に努める	訪問時打ち合わせをしアプローチ方法を考え指導進める	3ヶ月
2	29	地域との連携	「100歳体操」導入し地域貢献する	①入居者様へのアプローチし場所を2Fで実施②全体で体操に参加出来る③地域の方を招くため物品購入する	3ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月